

建設券全申し込み者に 予定数の1.8倍に

「建設券」全申込者に

岩見沢 販売予定数の1.8倍

市、500万円追加補正へ

建設券は1口5万円、市内で5万7500口分の補助金を確保した。岩見沢市は、岩見沢市建設券の申し込みが、当初の4月の第一回申し込み分より7200口、6月10日の第二回申し込み分より3600口の計1万0800口を販売する予定だった。



プレミアム建設券で岩見沢市内の屋根の塗装をする建設業者（松浦建設提供）

旭医科大学長不正支出か

勤務ない「補佐」に300万円

旭医科大学の古田学長が、事務局長に指示し、学外の「専任補佐」として自ら任命した補佐に勤務実績がないにもかかわらず、約300万円の報酬を支払ったと、井川正典による調査委員会が指摘していることが明らかになった。

調査委「事務局に支払い強要」 関係者によると、古田学長が支払いを強要し、任命した専任補佐は、三求めたため、今年3月、古田学長が専任補佐から入職し、月給約30万円の報酬を支払った。調査委員会は、古田学長が専任補佐に支払いを強要した事実を明らかにし、古田学長の責任を問うとしている。



旭川ギフト用伸び

でんすけ丸々 初競り60万円

旭川ギフト用伸び 旭川市で競りされた「でんすけ丸々」の水melonが、60万円の高値で落札された。これは、旭川市で競りされた水melonの最高値である。

思い 未来へつないだ

五輪聖火 代表2人が点火

山道さん「アイヌ文化伝わった」 湯川さん「国籍・人種超え応援」 山道さんと湯川さんが、アイヌ文化の継承と、国籍・人種を超えた応援をテーマに、五輪聖火の点火を行った。



点火後に聖火への思いを話す山道ヒビキさん（左）と湯川聖夢さん（右）

「緊急事態後」支援で論戦

定例道議会きょう開会

第2回定例道議会は15日開会する。新型コロナウイルス感染症拡大による政府の緊急事態宣言が20日に期限を迎える中、札幌などへの営業時間短縮要請や事業者支援のあり方への取り組み、今後の社会経済活動再開に向けた対応などが焦点となる。

道計画素案、22年度までに 道は14日の道議会保健福祉委員会、2020年度に道計画素案を提示した。素案では、屋内禁煙の飲食店の禁煙表示を道による抽出調査で100%を目指す。また、道が制作した映像教材を活用する自治体を179市町村とするなど、禁煙についても出入り口を確保する。

山崎太地さん「さらに前へ」 山崎太地さんが、山崎ワイナリーが3年連続で最高賞の五つ星に輝いたことを喜び、さらなる発展を期している。

山崎ワイナリー 最高賞 日本アワード3年連続

山崎ワイナリーが、山崎ワイナリーが3年連続で最高賞の五つ星に輝いたことを喜び、さらなる発展を期している。管内四つ星3カ所、三つ星4カ所、二つ星5カ所、一つ星1カ所、無星1カ所がある。



3年連続五つ星に輝いた山崎ワイナリーの山崎太地さん